

令和7年2月4日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・実施責任者氏名: 長野県屋代高等学校 三石 達也
2. 講師氏名: Dr. Changhwan SEONG
3. 講義補助者氏名: _____
4. 実施日時: 令和7年2月4日(火) 13:40 ~ 15:40
5. 参加生徒: 1年生 40人、 年生 人、 年生 人 (合計 40人)
備考: (例: 理数科の生徒) 理数科の生徒
6. 講義題目: 研究の概要と研究者を目指したきっかけ
7. 講義概要:
8. 講義形式:
対面 ・ オンライン (どちらか選択ください。)
 - 1) 講義時間 80 分 質疑応答時間 30 分
 - 2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義と対話形式の質疑応答
 - 3) 事前学習
有 ・ (どちらかに○をしてください。)
使用教材 _____
9. その他特筆すべき事項:

Form B-2
(FY2024)
Must be typed

Date (日付)
05 / 02 / 2025 (Date/Month/Year: 日/月/年)

Activity Report -Science Dialogue Program-
(サイエンス・ダイアログ 実施報告書)

- Fellow's name (講師氏名): Changhwan SEONG (ID No. P24106)
- Name and title of the lecture assistant (講義補助者の職・氏名)
三石 達也 (Tatsuya Mitsuishi) 先生
- Participating school (学校名): 長野県屋代高等学校
- Date (実施日時): 04 / 02 / 2025 (Date/Month/Year: 日/月/年)
- Lecture title (講義題目):
My Journey In Japan / How Do You Live?
- Lecture format (講義形式):
◆ Onsite ・ Online (Please choose one.)(対面 ・ オンライン)((どちらか選択ください。))
◆ Lecture time (講義時間) 100 min (分), Q&A time (質疑応答時間) 20 min (分)
◆ Lecture style (ex.: used projector, conducted experiments)
(講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など))
プロジェクター使用による講義
- Lecture summary (講義概要): Please summarize your lecture within 200-500 words.
本講義では、骨再生を含む再生医療およびエピジェネティクスについて学ぶ。講師自身が科学者を志したきっかけとして、細胞がどのように運命を決定するのかという問いに対する関心があったことを紹介し、研究の道に進んだ経緯を説明する。エピジェネティクス研究の魅力は、同じ遺伝情報を持つ細胞が異なる機能を獲得する仕組みにあり、その制御メカニズムを理解すると共に、再生医療や疾患治療に対しどのように応用するかについて学ぶ。本講義では、細胞分化やエピジェネティックな制御機構の基本概念を解説し、遺伝子発現に与える影響について最新の研究成果を交えながら紹介する。また、英語学習の重要性を理解するため講義は全て英語で行う。
- ◆ Other noteworthy information (その他特筆すべき事項):
特記事項なし
- Impressions and comments from the lecture assistant (講義補助者の方から、本プログラムに対する意見・感想等がありましたら、お願いいたします。):



Why did I come to Japan?

